

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（24年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先26%、「変らず」の先51%、「減少」した先23%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は3となり、前回調査より20ポイント改善しました。

収益は「増加」した先23%、「変らず」の先51%、「減少」した先26%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲3となり、前回調査より11ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回 (25/9)	9	11	15	▲17
	今回 (25/12)	9	18	8	3
収益	前回 (25/9)	7	16	12	▲14
	今回 (25/12)	8	18	9	▲3

動向

【前年同期との比較】

売上、収益とも改善しました。
内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲14→今回± 0
- ・ 同 収益：前回▲14→今回▲ 7
- ・ 建築売上：前回▲31→今回± 0
- ・ 同 収益：前回▲25→今回▲ 6

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益とも改善しました。

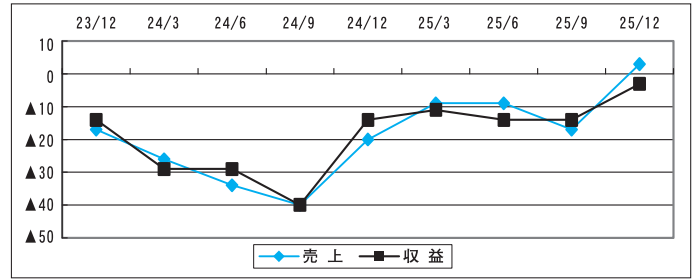
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「新築着工件数減少に伴い受注は減少傾向である」、「材料価格が上昇傾向にあり、価格転嫁を意識している」、「低価格住宅を主力商品とし売上は順調に推移している」、「リフォーム関連工事受注により売上は堅調である」といったものがありました。

前年同期比

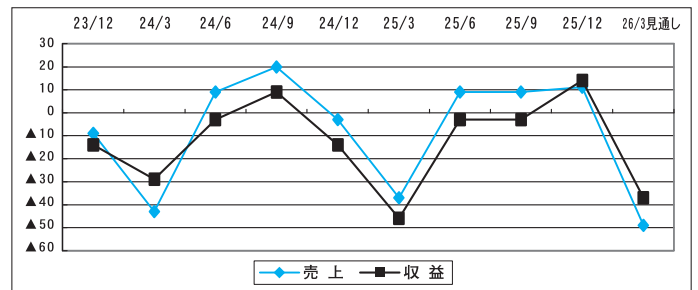
D I 値図表



調査時期	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12
売上	▲17	▲26	▲34	▲40	▲20	▲9	▲9	▲17	3
収益	▲14	▲29	▲29	▲40	▲14	▲11	▲14	▲14	▲3

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3見通し
売上	▲9	▲43	9	20	▲3	▲37	9	9	11	▲49
収益	▲14	▲29	▲3	9	▲14	▲46	▲3	▲3	14	▲37

直前3ヵ月比調査の業種別状況（D I 値による）（%）

項目		全体	土木	建築	その他
売上額	7月～9月と比較	11	14	13	0
	1月～3月の見通し	▲49	▲64	▲25	▲80
施工高	7月～9月と比較	14	0	31	0
	1月～3月の見通し	▲37	▲57	▲6	▲80
収益	7月～9月と比較	14	14	6	40
	1月～3月の見通し	▲37	▲43	▲25	▲60
請負価格	7月～9月と比較	34	21	50	20
	1月～3月の見通し	12	7	13	20
材料価格	7月～9月と比較	66	79	63	40
	1月～3月の見通し	57	57	56	60
在庫	7月～9月と比較	0	▲7	6	0
	1月～3月の見通し	3	0	6	0
資金繰	7月～9月と比較	▲9	▲21	▲13	40
	1月～3月の見通し	▲6	▲7	▲6	0